

本宮市糠沢地区で小魚のへい死(第3報:終報)

～水質分析の結果、人の健康に影響を及ぼす物質は検出されませんでした～

福島県本宮市糠沢地内の仲川において12月17日に確認された小魚のへい死について、①本日までの河川巡視の結果、18日以降、小魚のへい死は新たに確認されなかったこと、②水質分析の結果これまで人の健康に影響を与える物質は検出されていないこと、さらに12月16日に異常値を示した水質汚濁の指標のひとつであるCOD(化学的酸素要求量)についても17日13時以降は正常値に戻っていることから、本日13時をもって災害対策支部【注意体制】を解除いたしました。

1. へい死の状況

- ・へい死が見られた場所
一級河川 仲川（本宮市糠沢地内～本宮市和田地内）の約2 km区間
- ・へい死した魚の数・・・小魚：約600匹
- ・へい死の原因・・・特定されなかった
(福島県内水面水産試験場においてへい死の原因を調査していましたが、原因の特定に至りませんでした)

2. 現在までの対応について

- 17日 9:15 災害対策支部【注意体制】を設置。
9:15 へい死があった箇所から阿武隈川合流点にかけて河川管理者において河川巡視を実施。
9:15 下流利水者への連絡を実施。
11:00 阿武隈川合流点にオイルフェンスを設置完了。
- 18日 9:00 河川管理者において河川巡視を実施。新たな小魚のへい死は確認されませんでした。
15:30 へい死した小魚を約600匹回収。(福島県:約300匹、本宮市:約300匹)
- 19日 12:45 簡易水質試験(PH, COD)の結果異常なし。
河川巡視の結果、新たな小魚のへい死は確認されませんでした。
- 21日 9:00 河川管理者において河川巡視を実施。新たな小魚のへい死は確認されませんでした。
11:30 16日の車の横転事故により流出した化学物質(住宅断熱発泡材の原料)について、原因者が再度、道路側溝から回収。
- 24日 9:00 簡易水質試験(PH, COD)の結果異常なし。
河川巡視の結果、新たな魚のへい死は確認されませんでした。

3. 水質調査の結果

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局において、水質分析(16日、17日、18日、21日:計4回)を実施した結果、16日に仲川において、COD(化学的酸素要求量)が130mg/Lと高い値を示しましたが、17日13時には正常値に戻っています。その後の分析

においても、仲川及び阿武隈川の水から、人間の健康に影響を与える物質は検出されませんでした。

つきましては、①河川巡視の結果、新たな小魚のへい死は確認されなかったこと、
②水質分析の結果、仲川及び阿武隈川の水から人間の健康に影響を与える物質は検出されなかったことから、災害対策支部「注意体制」を解除し、これをもちまして水質事故に関する情報を終了いたします。

※魚のへい死や異常を発見された場合は、下記に連絡をお願いいたします。

<<発表記者会：福島県政記者クラブ、郡山市記者クラブ、福島市市政記者会>>

【問い合わせ先】

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局事務局

国土交通省 福島河川国道事務所 河川管理課

TEL 024-546-4331(代表)

副所長(河川) はたけやま 畠山 ひろあき 浩晃(内204)

河川管理課長 ししど 宍戸 よしひろ 善博(内331)

占用調整指導官 みねぎし 嶺岸 ゆきひこ 由紀彦(内303)